

ユメツカ旭川

一般社団法人旭川青年会議所 広報誌 2018



旭川商工会議所 副会頭
荒井 保明 様



シニアクラブ 会長
潮 日出夫 先輩



第 68 代理事長
岩井 隆行

INDEX:

◆ 例会・事業の紹介

わくわく ICE SQUARE in TOKIWA

第59回旭川冬まつり支援事業

第28回 烈夏七夕まつり

第57回旭川夏まつりのフィナーレを飾る事業

第一回ラーメン杯

旭川のソウルフードを盛り上げる事業

夢をつかめ!ユメツカ旭川2018

学生が考えるまちづくり

◆ メンバーメッセージ／活動軌跡

わくわく ICE SQUARE in TOKIWA

2月第一例会 担当／まつり事務局

第 59 回旭川冬まつり支援事業 わくわく ICE SQUARE in TOKIWA 2018

旭川冬まつり支援事業の継承

第 59 回旭川冬まつりの支援事業として、旭川青年会議所では常磐公園会場で設営を行いました。例年行っている滑り台やイルミネーションロード、旭川で世界大会も開かれる氷の彫刻体験に加え、年々多くなっている外国からの観光客向けに「和」というコンセプトで、雪の灯籠や和室、障子を背景にした撮影スポットなどを制作しました。また、来場者の皆様に氷の彫刻体験で制作していただいた彫刻を花瓶として使用し、普段では見ることのできない雪と花のコラボレーションを設えさせていただきました。さらに、おもてなしの心ということで、寒い中で来場していただく方々にメイン会場までの道で暖をとっていただくこと、暖かいお茶の振る舞いをさせていただきました。お茶の振る舞いや撮影スポットをもうけたことで、来場者の皆様に声をかけて、お話をすることができました。いろいろな国、いろいろな世代の方との交流は大変素晴らしい物でした。

ボランティアスタッフ募集について

冬まつりの設営は連日遅くまで行われます。その中で例年、素晴らしい力を発揮してくださるのがボランティアスタッフの皆様です。今年も雪の灯籠やかまくらでの演出などはボランティアの方々がいなければ到底なしえなかったと感じています。特別なスキルは必要ありませんし、新たな交流の場と考えていただいても結構です。ともに旭川冬まつりを、全力で盛り上げていただくボランティアスタッフを募集しています。一緒に冬を盛り上げて行きましょう！



福嶋康博さんを囲む懇談会

旭川市役所の方からお声がけ頂き、ドラゴンクエスト等で有名な(株)スクエアエニックス創業者の福嶋康博さんを囲む懇談会を開催することができました。旭川 J C メンバーを中心とした希望者約 30 名が参加し、事業の伸ばし方や経営論など、様々なお話を伺うことができました。旭川市役所関係者の皆様、そして福嶋康博様、充実の時間を本当にありがとうございました！

3月第二例会 担当／政治経済委員会

市民と創る冬のあさひかわ

西川市長を交えての公開例会

2018年度の政治経済委員会では、あさひかわの豊かさを探求する上で、観光振興による経済的豊かさを醸成する運動を行って参りました。恒例行事である市長例会では、会員以外も参加できる公開例会とし、多くの市民の皆様が参加され、一緒に市長の貴重な意見を聞く機会を提供しました。

旭川の強みと魅力を活かした冬季の観光振興を行う事が、この地域の社会問題をも解決する糸口になると提案させて頂いたところ、予想を上回る方々から反響を頂き、観光振興は経済波及効果が高く、市民ひとり一人に影響を及ぼす事になるという事が理解頂けました。例会の作り込みに際しても多くの対外の方と関わる事ができ、例会を通じて多くの学びを得る事が出来ました。



4月第二例会 担当／旭川創生委員会

ぼくらのまちづくり～みんなでまちづくり～

市内の学生コミュニティ団体の発表

当例会は旭川に存在している青少年コミュニティに所属している学生と各高校のボランティア部、インターアクト部に所属している学生が、各々どのような地域活動をしているのかを発表してもらい、様々な活動やコミュニティに興味をもってもらうこと、そして自身の活動に自信を持ってもらい活動意欲を高めてもらうことを目的として開催しました。発表後には、グループディスカッションにて、旭川を盛り上げる企画を背景、目的から考えてもらい、手法までを発表してもらいました。普段からまちづくり運動を遂行しているJCメンバーにもサポートに入ってもらい、世代を超えて、旭川のことを考える時間を過ごしてもらうことができました。



5月第一例会 担当／総務委員会

協心戮力～2020年北海道地区会員大会への道～

北海道地区大会の主管に向けて

2020年の北海道地区大会の主管LOMに立候補することとなり設えた例会です。

主管が決まれば実に30年振りということもあり、地区大会について学び、その学びがメンバーの意識変革に繋がればとの思いで設え、主管経験のあるLOMの諸先輩方の協力や、当日は会場である扇松園に榎原先輩を招き30年前の貴重なお話を聞かせてもらい、沢山の方々の協力のもと成功を収めることが出来ました。

また、各部門を担当した新会員のメンバーが台本を見ずにプレゼンをする姿がとても印象的で、その頑張りが参加メンバーにも伝わった例会でした。



6月第二例会 担当／人財委員会

make the next leap ～ JC の更なる可能性～

チャレンジとチームワーク

私たち青年経済人は組織の中で活動しており、人は一人では生きていけない事と生きる事はチャレンジの連続である事を趣旨として、チームワークの強化とチャレンジする意識の向上を図る事を目的に掲げ例会を行いました。

会員研修として、グループとチームの違いやどんな事にでも前向きにチャレンジ出来るマルチプレイヤーの育成をパワーポイントを用いて学びの場を提供し、旭川市の発展の為に提案をチームを組みグループワークを行いました。その中で、チャレンジとチームワークの連結によって可能性が無限大に広がる事が出来る事を学びました。



6月第一例会 担当／総務委員会

臨時総会

2019年度理事長の承認

6月第一例会「臨時総会」が6月7日サンアザレアにて行われました。理事長選考委員会の海老子川委員長より上程され全会一致で第69代理事長候補者は2013年度入会の菅井謙敬君に決まりました。

これにより2019年度は菅井丸が出航致します。メンバー一同全力で邁進していきますので温かいご支援、ご協力をお願い致します。



7月第一例会 担当／広報渉外委員会

地区会員会議所会議 in 根室

2020年度北海道地区大会主管に向けてのプレゼンテーション

7月7日根室で行われた会員会議所会議に参加してまいりました。毎年根室では北方領土返還運動を行っています。旭川にとっては2020年度北海道地区大会主管に立候補している立場として、この日に行われる公開プレゼンテーションに旭川青年会議所の会員総勢31名で参加させていただきました。新谷専務のプレゼンテーション、そして岩井理事長の地区大会に懸ける想いを北海道地区協議会、各地理事長様へしっかりと伝えさせていただきました。11月24日に行われる会員会議所でご審議をいただけるまで邁進していきたいと思っております。





烈夏七まつり

8月第一例会 担当／まつり事務局

第28回烈夏七まつり ～誇り高き魂、伝統の夏～

見るまつりから参加するまつりへ

第28回烈夏七まつりが、今年も盛大に開催されました。近年は見るまつりから参加するまつりへというコンセプトで、参加者もどんどん増えています。今年は、まつりの顔ともいべき烈夏囃子のバージョンを増やす、次世代の担い手育成ということで学生ボランティアを募集する、クラウドファンディングに挑戦するなど、新たなチャレンジを行った年でした。「旭川の顔になる新しい夏まつりを100年後に伝えよう」という、第1回烈夏七まつり開催当初からの想いを受け継ぎ、進化を続けています。昭和通りを通行止めにしてまつり行うというのも、近年のことです。それは多くの皆様の心に残るまつりになるように、烈夏七まつりが旭川の夏の代名詞と呼ばれるように実行委員会一同、必死に頑張ってきたから今のこの形があります。このまつりがある旭川が好きだと、多くの皆様に感じていただければ幸いです。これからも進化を続ける烈夏七まつりをよりしくお願いします。



9月第一例会 担当／総務委員会

定時総会

2019年度役員全員の承認

9月第一例会「定時総会」が行われました。全会一致で承認され2019年度が始動致します。初めて理事になる方が多数いる非常にフレッシュな顔ぶれとなりました。諸先輩方の功績に敬意を払いながらも、第69代理事長候補者である菅井謙敬君を始めとした役員らが中心となり、新しい旭川青年会議所の運動で旭川のまちづくりに貢献していきます。2019年度のスローガンは「楔（くさび）の心」です。これまでより一層のご指導ご鞭撻くださいますようどうぞよろしくお願い致します。



10月第一例会 担当／政治経済委員会

ASAHIKAWA の魅力を発信する

サンプラゼントパークにて開催

10月第一例会は、市長例会の続編とし、冬季観光振興で旭川の経済的豊かさを醸成する提案をより発展させた形の例会を行いました。内容としては、情報発信の重要性と、個人が発信するSNS、意図的に行うインフルエンサーの可能性について提案しました。2部では旭川を代表するプロスキーヤー浅川誠氏にお越し頂き、スノーリゾート旭川を構築していく上で、この地域の魅力である雪質の良さや、繁華街と山が近くにある為アフタースキーの自由度が高い点が他の地域には無い魅力であると力説して頂きました。対外参加者のＪＣ道北エリアの方々や一般の参加者からも反響を頂き、地元に帰って冬の魅力を掘り起こしてみたいとの意見も頂け、実りの多い例会となりました。



10月第二例会 担当／人財委員会

A healthy life ～旭川を健康なまちへ～

新入会員だけでつくる例会

今期入会をした人財委員会新会員による例会が行われました。この新会員例会は毎年入会して頂いた新入会員が一年を通じて旭川青年会議所で見て感じて学んだ事を明りい豊かなまちづくりをテーマに集大成の場として行いました。

毎年、新入会員同期メンバー同士にて、熱い意見交換やぶつかり合い、励ましあいがありながら例会の構築に取り組み、その中で壁にぶつかり共に支えながら例会当日を迎えます。その熱量で、新しい地域・街づくりのビジョンが生まれてきます。今年度はまちづくりの基本は「健康」であるというテーマのもと、身体的、精神的、社会的な健康についてメンバーに考え直していただき旭川を市民と共に盛り上げていこうという内容で行われました。



11月第一例会 担当／政治経済委員会

「じもと × しごと発見フェア」旭川開催

北海道との共催

昨年に引き続き北海道との共催で旭川地場産センターで「じもと × しごと発見フェア」を開催させていただきます。対象は高校生と卒業3年未満に絞地元旭川で就職していただき地域経済の担い手育成の一助となる事を目的に開催しています。11月に開催の為写真は昨年のもになりますが、参加いただいた学生たちの興味を持って話を聞いている姿に我々もより興味を持って就職していただける企業にならなくてはならないと感じています。来年度も開催できるようにまた一から頑張ります。





10月第三例会 担当／まつり事務局

地域資源を生かした販わいづくり

旭川の秋に販わいを創出したい

秋に新たな販わいを創ろうと、旭川地場産業振興センターでラーメン杯2018を開催しました。市民一体となってラーメンを盛り上げたいという想いから、プロの店舗ではなくアマチュアの方を集めて、ラーメンを作り一般の方に振る舞うという企画です。第一回ということで、果たして参加チームが集まるか分からないという不安もありましたが、結果として7チームが参加し販売を行いました。それぞれのチームが個性的で美味しいラーメンを作り、ラーメン杯を盛り上げてくれました。



10月第三例会 担当／旭川創生委員会

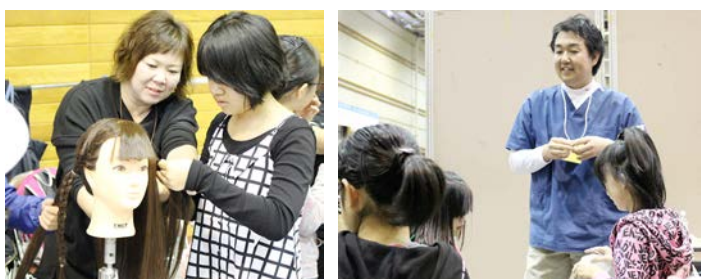
「夢会議2018～学生が考えるまちづくり」

夢をつかめ!ユメツカ旭川2018

学生たちが創る夢の事業

4月の例会を経て、集結した中高生で「夢会議」という会議体を作り、実際に旭川を盛り上げる事業を考え実施しました。計画から実施に至るまで自らの発信で仲間や地域を巻き込む力をつけてもらうこと、事業の計画から実施検証までの学びをつけて、各々の活動に持ち帰ってもらうことを目的とし、多くの案の中から、小学生向けの職業体験を開催することになりました。

仲間との話し合いや、参加企業との打ち合わせ、そして旭川創生委員会との関わりの中、学生が様々なことを感じながら成長してくれたと思います。当日手伝ってもらったボランティアの学生を巻き込みめざす苦戦することもありましたが、最後には、旭川で仲間と一緒にやりとげた達成感を味わっていただけたと思います。





広報誌ナナカマドの由来

1964 年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっていますが、植樹が契機となり、1976 年ナナカマドが、「旭川の木」として制定されました。以上のことからナナカマドは、旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、広報誌の名前も「ナナカマド」となりました。

お問い合わせ先 平日10:00～17:00まで

TEL.0166-22-9815

(一社)旭川青年会議所まで

旭川 JC

検索

<http://www.asahikawa-jc.or.jp/>

過去の広報誌は
WEB サイトより!



メンバーからのメッセージ



2006年度入会

(株)近藤染工場
常務取締役

近藤 耕介

J C の運動は多彩で、議案上程や委員会運営などから自分の仕事にも生かすことのできるスキルを磨ける場面もあれば、出向や大会への参加で、同世代の気の置けない仲間と一緒にかけがえのない楽しい時間を過ごす機会もたくさんありました。自分が持っていない様々な価値観や考え方に触れることで、自分自身の生き方が変わりました。J C で皆に与えられる「普段経験することの無い様々な機会」は、生かすも殺すも自分次第です。もちろん、仕事や家庭の優先順位を上げなければいけない時期もあるので、参加できない時は仕方ないですが、参加した分、本当に多くのものを得られます。出会いはプライスレス。より多くの出会いを得るために、1 年でも早い入会をおすすめします!



2017年度入会

極東警備保障(株)
社長室 室長

野村 晋也

J C に入会し約 2 年が経ちました。入会当初はどんな活動をしている団体なのだろう?と興味津々でした。委員会活動や地区への出向、様々な事業への参加を通じて日常の生活では味わうことのできない体験をすることができ、沢山の気づきと学びを得る事ができました。また、沢山の人の出会いに感謝をしています。この 2 年間、苦労することもありましたがいつも隣で仲間が支えてくれました。どんなことにも仲間と共に挑むことができます。J C ではいろんなことに挑戦することができます。どんなことにも高き志を持って果敢に挑戦してこそ、自己成長への道は開けると信じています。これからも仲間と共に楽しく活動していきたいです。



2018年度入会

男山(株)
取締役

山崎 五良

私の入会の目的は「旭川のために貢献すること」です。入会して 1 年が経ちますが、この青年会議所は、様々な事業を通して旭川に大きく貢献しており、旭川のために何かしたい人にとっては最適な組織だと実感しております。特に烈夏七夕まつりは、多くの市民や企業を巻き込むイベントであり、青年会議所だからこそできるイベントだと思っています。会議所の事務所が分煙されていなかったり、拘束時間が長かったりなど思うところも多々ありますが、旭川市の活性化のために考え実行している組織であることは間違いないので、引き続き少しでも旭川のために貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

2018年度の活動軌跡

1 月	定時総会／新年交例会／卒業生を送る夕べ (公社)日本青年会議所 京都会議	7 月	北海道地区協議会 第 4 回会員会議所会議(根室) 北海道地区協議会 第 48 次北方領土返還要求現地視察大会 (公社)日本青年会議所 横浜サマーコンファレンス 2017
2 月	第 59 回旭川冬まつり支援事業 わくわく ICE SQUARE in TOKIWA2018 北海道地区協議会 第 2 回会員会議所会議(旭川)	8 月	8 月第一例会 第 28 回 烈夏七夕まつり～誇り高き魂、伝統の夏～
3 月	3 月第一例会 新会員仮配属式 3 月親睦事業 All Night to AKATSUKI ～晩まで渾身に懇親しよう～ 3 月第二例会 市民と創る冬のあさひかわ	9 月	9 月第一例会 定時総会
4 月	北海道地区協議会 第 3 回会員会議所会議(網走) 4 月第一例会 ぼくらのまちづくり～みんなでまちづくり 北海道地区協議会 北海道 J C フォーラム 2018 HOKKAIDO DESIGN	10 月	10 月第一例会 ASAHIKAWA の魅力を発信する 10 月第二例会 新会員例会 A healthy life ～旭川を健康なまちへ～ 10 月第三例会 夢会議 2018 ～学生が考えるまちづくり 第一回ラーメン杯 (公社)日本青年会議所 第 67 回全国大会宮崎大会
5 月	5 月第一例会 協心戮力～2020 年北海道地区会員大会への道～	11 月	11 月第一例会 じもと × しごと発見フェア 旭川開催 11 月第二例会 創立 68 周年記念式典・祝賀会 11 月第三例会 卒業生例会
6 月	6 月第一例会 臨時総会 6 月第二例会 make the next leap ～JC の更なる可能性～	12 月	12 月第一例会 意気込み例会 12 月親睦事業 JC クリスマスパーティ



まちづくり・人づくりのために積極的な活動をする市民団体やボランティア、旭川の活性化を目指す団体を応援したい想いから、2013 年 10 月 28 日に設立し、毎年たくさんの応募をいただいております。今年度の助成対象団体様は、「旭川ラーメン応援チアダンスプロジェクト」様、「北条会」様の 2 団体に決定させていただきました。

基金の沿革

2014 年度 ～ 旭川地区サッカー協会 第 3 種事業委員会

2016 年度 ～ WORKSHOP COLLECTION /

特定非営利活動法人もりねっと北海道

2017 年度 ～ 旭川ラーメン応援チアダンスプロジェクト／北条会